

研修報告

ゾーニング研修

神明福祉園は、感染症対策の一つとしてゾーニングの研修を行っています。前半は、日々自身で行っている感染症対策を一つ一つ挙げ、各々の重要性や意味など再確認を行いました。後半は、感染者が発生した場合に職員がどう動いて対応するか、看護師立ち合いの元、一連の流れを確認しました。感染症の3原則「持ち込まない」「持ち出さない」「広げないこと」を念頭に置き、具体的にどのようにしてゾーニングを行い、他の方との接触をできる限り少なくするのか、視覚的にもイラストや文字を使ってわかりやすく提示し、職員や利用者の動きの注意点など確認し合うことができました。

昨今新型コロナウイルスも含め、未知なるウイルスが無数にあります。利用者様の日々の体調確認を行うとともに、施設でも研修や訓練を重ね、利用者の皆様が安全に過ごせる環境作りを徹底していきたいと思います。

(記：船山)



副施設長から



いつも当施設の運営にご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。
新型コロナウイルス感染症の類型変更から一年が経ち、これまで行ってきた取り組みや新しい取り組みも試行錯誤しながら行わせていただいております。
コロナ禍の制限で情報等も減っていました。今回は新しく行政等が行っている取り組みを紹介させていただきます。

① 地域生活支援拠点（令和2年開始）

障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、障がい者の生活を地域全体で支えるため、居住支援のためのサービス提供体制を、地域の実情に応じて整備するものです。必要な機能は「相談」、「緊急時の受け入れ」、「体験の機会・場」、「専門の人材の確保・養成」、「地域の体制づくり」の5つです。特に「緊急時の受け入れ」は、介護者の急病や障がい者の状況変化等の緊急時の受け入れや医療機関への連絡などを行います。

② 障がいのある方への合理的配慮

令和6年4月1日から障がいがある方への合理的配慮が義務化されています。障がいを理由とする「不当な差別的扱い」を禁止し、企業や店舗、行政機関等においては、障がいがあるというだけで財・サービス、各種機会の提供を拒否したり、障がいのない人と異なる取り扱いをし、障がいのある人を不利に扱うことをしないようにする内容となっています。具体的には、正当な理由なく入店を断る、業務に支障がないにも関わらず、障がいのある人とない人を違う場所に対応するなど、があります。他にも様々な事例も書かれていますので、区役所等でパンフレットが配布されています。是非ご覧になって、知っていただければと思います。(記：酒井)

防災訓練



年始に能登半島を襲った痛ましい震災が記憶に新しいですが、近年地震の発生回数が全国的に多くなっている気がします。そんないつ起きてもおかしくない自然災害に備え、神明福祉園では毎年欠かさず防災訓練を実施しています。今年度初の防災訓練は5月29日に地震を想定した避難訓練を実施しました。今回の訓練では、負傷した職員を担架で救護班まで移送する訓練も行いましたが、慣れない訓練にスムーズに移送が出来ない状況もありました。

災害はいつ起こるか分からないため、想定される状況を抽出していきながら、日頃の訓練に力を入れて取り組みを行っていきたいと思います。(記：木村)



お知らせ ~information~

★内部研修

7月24日(水) 不適切な身体拘束に関わる研修

★夏季休暇

8月13日(月) ~ 8月14日(火)

★その他

7月31日(水) 避難訓練

8月2日(金) 地域交流会

※広報誌における写真や記事は、個人情報保護法に基づき、ご本人、およびご家族の同意の上で掲載しています。
(広報担当：山本・齋藤・船山・宮路)



NO. 182

令和6年7月22日 発行

発行者:神明福祉園

発行責任者:照井智幸

住所:〒121-0057

足立区神明南2-6-18

神明障がい福祉施設内

電話:03-5682-5370

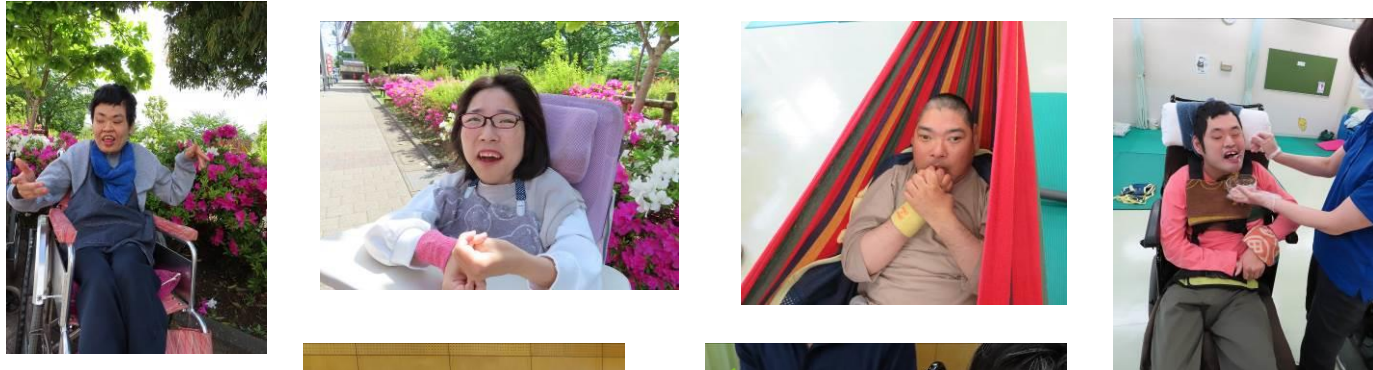
FAX:03-5682-5665



グループ紹介

1グループ 目標：「自分で選んで伝えよう！」

令和6年度の1グループは利用者の方8名、職員4名で活動を行っていきます。
『自分で選んで伝えよう!』を目標に、他グループとの合同の活動、様々な刺激を取り入れた感覚活動を企画・実施し、利用者の方それぞれの興味・関心を引き出していけるように取り組んでいきます。
また、医療的ケア受け入れの為に準備を行っていく事もあり、より安全を意識したグループ運営を行っていきます。今年度もよろしくお祈いします。(記：木村)



2グループ 目標：「自分で選んで、新しいことにも楽しみながらチャレンジ！」

2グループは今年度、利用者10名、支援員6名で活動を行っています。
感覚刺激・体験活動・機能訓練等を通し、色々な表現・自発的な行動を引き出し、心身の安定を図るグループになります。
「自分で選んで、新しいことにも楽しみながらチャレンジ！」することを目標に様々な活動に取り組んでいます。利用者の方ひとりひとりのニーズに沿った活動を提供し、特性に合わせた配慮を行うことで個々の自己表現を引き出し、利用者の方同士の関わりを大事にしていきたいと考えています。今年度もよろしくお祈いします。

(記：佐々木)



3グループ 目標：「たくさん動いて、作業は集中！」

3グループは今年度、利用者10名と支援員6名で活動を行っていきます。目標は昨年度同様に「たくさん動いて、作業は集中!」です。ウォーキング等体を動かす活動と作業に取り組んでいます。また、今年度は農園活動と園芸活動を始めました! 苗の購入、苗植え、水やり等、皆で協力して美味しくなるようにピーマンやナス、イチゴを育てています。収穫まで無事にできるように、暑さにも虫にも負けずに頑張っていきたいと思います。熱中症対策等、体調管理にも気を付けていきます。

その他にも調理活動やカラオケ等の皆さんが楽しめる活動等も行いながら、楽しい園生活を送れるように取り組んでいきます。今年度もよろしくお祈いします。(記：神田)



4グループ 目標：「たくさんの新しい体験を！」

4グループは今年度、利用者11名、支援員5名で活動を行っていきます。4グループは生活や活動の中で様々な経験をし、見通しを持ちながら自律・自立した行動を目指すグループです。グループの目標は「たくさんの新しい体験を!」という事で、個々の取り組みとしてのトライ活動や古紙回収、農園、リラクゼーション、トランポリン、カラオケ、調理活動等を行っていきます。また、定期的にウォーキングも行って体を動かしながら、集団の中で互いに成長出来る様に支援していきます。四季折々に応じた行事等も企画しながら、利用者の方々が施設での生活にご満足頂けるよう努めてまいりたいと思います。今年度もよろしくお祈いします。(記：齋藤)

